

2020年5月21日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
学校法人軽井沢風越学園

テクマトリックス、学校法人軽井沢風越学園向けに 学びの個別化を実現するコミュニケーション・プラットフォーム 「typhoon」(タイフーン) を新規開発～導入 ～ 新型コロナウイルス感染症禍の下で一気にシステム利用が進む ～

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：由利 孝）は、長年にわたる自社パッケージソフトウェアの開発で培ったノウハウ、経験および導入実績を活用し、この度、学校法人軽井沢風越学園（所在地：長野県北佐久郡軽井沢町、理事長：本城 慎之介）向けに、「新しい形のコミュニケーション・プラットフォーム」を新規開発～導入しましたので、お知らせいたします。

■ 12年間の幼小中混在校「軽井沢風越学園」

2019年11月1日に設立された学校法人軽井沢風越学園（Karuizawa Kazakoshi School）は、軽井沢風越幼稚園および義務教育学校の全12学年からなる学校です。2020年4月の開園・開校時には、194名の子ども（幼稚園年少～年長まで48名、1～7年生まで146名）が在籍し、41名の教職員（スタッフ）が子どもたちとの学校生活をスタートさせています※。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、開園・開校翌日よりオンラインでの取り組みを行っております。6月1日からの開校を目指し、5月11日から分散登校を開始しています。



【軽井沢風越学園の校舎外観】

軽井沢風越学園では、幼稚園年少から小学2年生までを＜前期＞、小学3年生から中学3年生までを＜後期＞としています。＜前期＞は「自分をつくる時期」であり、遊びや生活の中から「～したい」を軸とした自分らしさや自分の生活をつくっていきます。＜後期＞は「自分でつくる時期」と捉え、前期の間にじっくり育んだ「～したい」をもとに、他者や社会との関係を大切にしながら、様々な「つくる」を本気でたっぷり経験していきます。

また、子ども自身の力で遊びや学びをつくっていただけることを信じ、子どもが「学びのコントローラ」を持ち続けられるような環境づくりに取り組んでいます。

■ 軽井沢風越学園のコミュニケーション・プラットフォーム「typhoon」

開校に先駆けた 2020 年 4 月 1 日に、同学園の「コミュニケーションの土台」となるべく「typhoon」（タイフーン）というシステムがリリースされました。

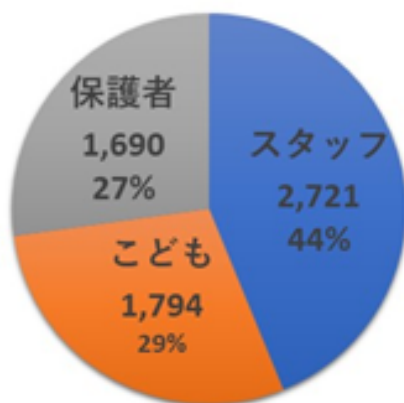
1. 「typhoon」のシステムコンセプト

「typhoon」は、子どもを中心に、活動やイベントなど子どもが体験するあらゆるタッチポイントを統合的に管理し、スチューデントジャーニー（Student Journey）を可視化するとともに、その情報を子ども・スタッフ・保護者が最大限に有効活用できる「統合コミュニケーション・プラットフォーム+校務支援システム」です。

子ども自身が typhoon で自分の学習計画や学びのふりかえり・記録をとり、スタッフおよび保護者がそれに伴走することで、学びの個別化をサポートします。コミュニケーション機能を通じて、スタッフと子ども、異学年の子ども同士、スタッフと保護者および保護者同士の相互コミュニケーションが可能となっています。もちろん、出席管理や保健関係・時数管理などの校務支援の機能を有しています。

2. 一気に進んだ「typhoon」の活用

<チャンネル>への投稿数



期間	2020/4/1~4/27
投稿件数	6,205件
投稿人数	
保護者	205人/296人 (69.2%)
子ども	106人/146人 (72.6%)
平均投稿数	230件/日
保護者	66件/日
子ども	121件/日

自由に登校できない状況のなか、「typhoon」は子どもたちとスタッフ、さらには保護者をつなぐツールとして一気に利用が進みました。例えば<チャンネル>と呼ばれるチャット形式のメッセージ送受信機能を利用して、担当スタッフと子どもたちの間での自己紹介が行われたり、保護者とスタッフの間での連絡事項や、在宅での学習の進め方に関する相談が行われています。この<チャンネル>画面への投稿は、2020年4月のシステム利用開始からの1か月で、6,200件を超えました。



- ・ <チャンネル>上のスタッフと保護者とのコミュニケーション例 (*人物名はすべて仮名です)

連絡ノート_内村結芽花 41

[設定](#) [参加者一覧](#)

スタッフ 石原 れいか 2020/05/20 13:55

由子さん



オンラインが始まって1週間がたちましたが、ゆめちゃんの様子はいかがでしょうか。ゆめちゃんはいつもニコニコ、笑顔で、思ったことをきちんと伝えることができるので場の雰囲気が明るくなります！

「最近、宇宙に興味があるんだよね。」と話していました。私もゆめちゃんくらいの頃、「宇宙人は本当にいるのだろうか？」ということにすごく興味があって、たくさん本を買ってもらったことを思い出しました。宇宙をテーマにゆめちゃんの探求が始まるといいなあと思っています！



保護者 内村 由子 2020/05/20 14:00

れいさん

こんにちは。連絡ありがとうございます。

彼女に「オンラインしてみてどんな感じ？」と質問してみました。

- ・ みんなと同じ教室にいるみたいでとても楽しい。
- ・ 学年が違うのは気にならないけど、たまに話が難しい時がある。
- ・ 発言したいけどできないことがたまーーにある。
- ・ 初めの頃はグループ分けするとみんなしゃべらなかつたけど最近はリーダーになってくれる人がいるから話しやすい。
- ・ マジカルバナナが楽しかった

と、話してくれました。

不安もあったようですが、今は毎日楽しんでいるようなので安心しています。

時間の管理がまだ難しいようで、いただいた予定表を印刷してわたしてあるのですが、読書や課題に集中してしまって、つどいの時間を忘れてしまったりするようです。

私も仕事をしながらフォローをしているのですが、ずっと見ているわけにもいかず、彼女と相談して、今週から朝にスケジュールを一緒に確認して、ケータイのアラームをセットするように工夫してみました。

しばらくこれで声がけせずに見守ろうと思っています。

■ 軽井沢風越学園からのメッセージ

・ 理事長 本城慎之介氏

軽井沢風越学園では、子どもが自分の学びをデザインします。学習計画を立てるだけでなく、宿題やテストも自分で計画し、何を学んだかを定期的にふりかえって、仲間やスタッフと共有します。他の人の助けを得ながら、自分なりの学び方やペースをつくることは、自分の未来は自分でつくることができるという実感につながります。そうした子どもの学習や活動を下支えしていくのが、**typhoon**です。**typhoon**の中心には子どもがいます。これまでの校務支援システムなどと明確に違うのは、そこです。子ども自身が学びのコントローラを持ち続けられる土台のシステムとして **typhoon** が進化していけるよう、スタッフ、子ども、保護者がアイデアを持ち寄って利用していきたいと思っています。

・ 校長 岩瀬直樹氏

コロナ禍の中、オンラインのスタートになった軽井沢風越学園。その中で **typhoon** は子どもと保護者、学園のスタッフの3者をつなぐプラットフォームとして力強く支えてくれています。ある子の発信

で生まれた「国際交流プロジェクト」は、子ども・保護者が参加するプロジェクトとして進行中です。保護者同士のコミュニティが生まれたり、スタッフと保護者とのやりとりでは「心のもやもやをすぐにご相談できるのは、本当に心強く安心します。～ typhoon、強くて温かい！」と保護者からメッセージをいただいたりと、このシステムの価値を実感しています。分散登校が始まってからも、これまで以上に活用されています。新しいかたちの学校、子ども自身の学びを支えるシステムとして、さらに typhoon の可能性を探っていきます。

テクマトリックスと軽井沢風越学園は、リリースされたばかりの「typhoon」の機能強化・改善を引き続き行ってまいります。そして、「typhoon」をベースに、テクマトリックスが持つ製品企画力・開発力・営業推進力と、軽井沢風越学園が実践する子ども主導の学びと ICT 利活用の知見を融合し、今後、テクマトリックスは、新規事業として教育業界向けにパッケージソリューション提供を推進してまいります。

■ 学校法人軽井沢風越学園について

- ・ 所在地： 長野県北佐久郡軽井沢町大字発地 1278-16
- ・ 理事長： 本城 慎之介
- ・ URL： <https://kazakoshi.ed.jp/>

軽井沢風越学園は、軽井沢風越幼稚園と義務教育学校からなる幼小中混在校です。一般的には”一貫校”ですが、「じっくり・ゆったり・たっぷり・まざって」の願いを込めて、混在校としています。12年間で「つくる」ことを通じて、「自由に生きる」ということと「自由を相互に承認する」ということを繰り返し試していきます。そうすることで、1人ひとりが幸せになり、幸せな社会をつくっていけると信じています。

■ テクマトリックス株式会社について

- ・ 所在地： 東京都港区三田 3-11-24 国際興業三田第 2 ビル
- ・ 代表取締役： 由利 孝
- ・ URL： <https://www.techmatrix.co.jp>

テクマトリックスは、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア技術を駆使し顧客の抱える問題領域におけるベストプラクティスを実装したアプリケーションの提供を行なう「アプリケーション・サービス事業」を行っています。

【問い合わせ先】

本プレスリリースに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

<テクマトリックス株式会社>

新規事業開発室

E-mail： new-biz-dev@techmatrix.co.jp

<学校法人軽井沢風越学園>

広報担当

E-mail： pr@kazakoshi.ed.jp

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。